

A. Lower

Peeping Tom ピーピング・トム / フォー・レント



2014.3.1(土) 2:00pm 兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール


すべては
かりそめの、



主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター

協賛：リュネット アン・パレンタイン *AnneArvalinty*

後援：ベルギー王国大使館 
公益財団法人フランダースセンター  FLANDERS CENTER

 平成25年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

Concept & Direction: Gabriela Carrizo, Franck Chartier

Dance & Creation: Jos Baker, Eurudike De Beul, Leo De Beul, Marie Gyselbrecht, Hun-Mok Jung, SeolJin Kim, Simon Versnel

Production: Peeping Tom & KVS

Coproduction: Théâtre de l'Archipel Perpignan, El Canal Centre d'Arts Escèniques Salt/Girona, Cankarjev Dom Ljubljana, La Filature Mulhouse, Le Rive Gauche Saint-Etienne-du-Rouvray, Guimarães European Cultural Capital 2012, Hellerau European Center for the Arts Dresden, Festival International Madrid en Danza 2012, Festival de Marseille 2012.

Photo: Herman Sorolagos

Peeping Tom *A. Louer*

ピーピング・トム / フォー・レント

2014.3.1(土) 2:00pm 開場は開演の30分前

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札口スグ JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

◎料金 A席 3,000円 B席 1,000円(全席指定・税込)

好評発売中

◎チケット取り扱い

[インターネット予約]

- 芸術文化センター <http://www.gcenter-hyogo.jp>
- イープラス <http://eplus.jp>
- チケットぴあ <http://pia.jp/t/>
- ローソンチケット <http://l-tike.com>

[電話予約]

- 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255
(10:00am-5:00pm 月曜休み ※祝日の場合は翌日)
- チケットぴあ 0570-02-9999【Pコード 430-181】
- ローソンチケット 0570-000-407(オペレーター対応)
0570-084-005【Lコード 55129】

[直接購入]

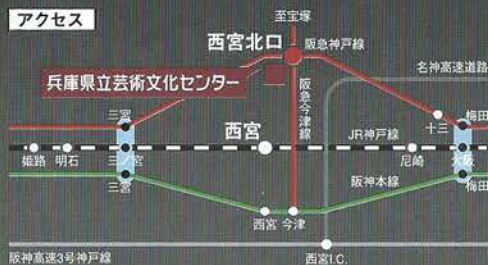
芸術文化センター2階総合カウンター、ローソン、サンクス
ファミリーマート、セブンイレブン、サークルK、ミニストップ

◎お問い合わせ 芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255

芸術文化センター ピーピングトム 検索

※ブレイガイドでのお取り扱いについては、各ブレイガイドにお問い合わせください。
※未就学児童はご入場いただけません。

アクセス



- ◎阪急 西宮北口駅 南改札口 スグ(連絡デッキで直結)
- ◎JR 西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)
- ※ご来場は、電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

舞台は、かつて栄華を極めた貴族の館、もしくは古い劇場の一角のようでもある。正面には深紅のカーテンが、巨大な広間に流れる時間を封印するかのごとく壁一面を埋め尽くしている。おそらく競売にでもかけられているのであろうか、家具には白い布がかけられ、“その時”が訪れるのを静かに待っているかのようだ。屋敷の執事が、女主人に来客を告げる。行き交うゲストの波に、懐かしい歌手の姿がフラッシュバックする。その瞬間、封印されていた時間がゆっくりと流れだす。ゆがみながら、未来へ、そして、過去へ……。

心の動揺を呼び覚ます、ピーピング・トム待望の最新作!

見るものを現実から引き離す、想像を超える舞台空間。ありきたりのパフォーマンスは弾劾され、舞台は挑発と狂気によって支配されていく。欲望、不安、妄想は、ステージ上で結晶となり、まるで発作のように突如として再生する。メビウスの輪のように繰り返す、悪夢とファンタジーが織りなす禁断のストーリー。



ピーピング・トム

ベルギー屈指のダンスカンパニー Les Ballets C. de la B.の中心メンバーとして活躍してきたガブリエラ・カリーソと、フランク・シャルティエによって結成。未知なるダンスの創造を目指してカンパニーを「ピーピング・トム＝覗き屋」と命名する。代表作に、トリロジー【「Le Jardin / ガーデン」(02)、「Le Salon / サロン」(04)、「Le Sous Sol / 土の下」(07)】、「ヴァンデンブランデン通り32番地」(09)がある。ダンサー、俳優、オペラ歌手ら、異なる背景を持ったアーティストが生み出す、強烈な個性を放つ驚異のパフォーマンスは、カルト的な人気さえ呼ぶ伝説の舞台としてダンス史にその名を刻むとともに、現代のピナバウシュと称される程。最も過酷な場面さえ、悲しみ、愛情、美しさに満ちたエモーションなステージ。確かなテクニックとユーモラスでアクロバティックなムーブメントは、他の追従を許さない独自のスタイルとなって、もはや新しいジャンルの舞台としてその名をとどろかせている。

主な受賞歴: 「最優秀ダンス作品賞(「サロン」)」(05/仏)、サルツブルク・フェスティバル「若手演出家賞」(07/奥)、メルボルン・インターナショナル・アート・フェスティバル「バトロン・サークル・アワード」(09/豪)など。

ガブリエラ・カリーソ (アルゼンチン/コルドバ出身)

コルドバの舞踊学校を経て、95年よりLes Ballets C. de la B.に参加。中心メンバーとして活躍し、ブラテル演出のオペラ「ウォルフ」では振付を担当。近年では女優としてベルギー映画「キッド」(12)に主演、「ゲント国際映画祭」「スベシャル・メンション」、パリ映画祭「学生審査員賞」受賞。テッサロニキ国際映画祭、ロッテルダム国際映画祭、ローマ国際映画祭出品

フランク・シャルティエ (フランス ロアンス出身)

11歳でダンスを始め、ロゼラ・ハイタワー国際舞踊学校(カンヌ)を経て、20世紀バレエ団、ベジャール・バレエ・ローザンヌに所属。プレルジョカージュ、ローザス、ニードカンパニーの作品に出演する一方、96年よりLes Ballets C. de la B.に参加。近年では、ヨーテボリバレエへの振付や、オペラ「マルーフ カイロの靴屋」(音楽監督:アラン・アルティノークル、演出:ジェローム・デシャン)の振付を担当するなど内外で活躍。

とめどなく流れる、
永遠に噛み合うことのない時間